

2024年度都道府県指導者養成研修 (がん化学療法チーム研修企画)

香川大学医学部附属病院

香川大学医学部附属病院



特定機能病院
都道府県がん診療連携拠点病院
がんゲノム医療連携病院
小児がん連携拠点病院
骨髄バンク移植認定病院
エイズ診療中核拠点病院
臓器提供、腎臓・膵臓移植施設
災害拠点病院
肝疾患診療連携拠点病院
認知症疾患医療センター
難病診療連携拠点病院 等



都道府県の情報 (2020年度)

都道府県内の総人口	950,244	人
がん死亡者数 (%)	3,077	人 (22.1%) *2022年度
高齢化率	31.8	%



「ART SETOUCHI」は、3年ごとに開催される「瀬戸内国際芸術祭」とその間に取り組まれるアートを通して地域の活力を取り戻し、再生を目指す活動の総称です。瀬戸内国際芸術祭の背景には、「ART SETOUCHI」があるからこそ、縁がき、他の地域で見られない新しい出来事が生まれ、「海の復興」につながっていきます。

The Setouchi Triennale takes place within the framework of Art Setouchi, which continues every year. Art Setouchi has forged lasting connections with local communities and generated unique initiatives which are contributing to restoration of the sea.

【会期 Session】
春会期: 4月29日(木)~5月5日(木)、5月8日(土)、5月9日(日)
夏会期: 8月7日(土)~8月15日(日)
秋会期: 9月18日(土)~9月20日(日)、9月23日(木)~9月26日(日)、10月2日(土)、10月3日(日)

作品によっては、この限りではありません。また、展示作品とベネッセアートサイト直島の作品は連年で開催しています。
詳細は公式サイト(国際センター)をご覧ください。 <https://setouchi.artfest.jp/artworks/calendar.html>

Spring: Apr 29th [Thu]~May 18th [Wed], 8th [Sat], 9th [Sun]
Summer: Aug 7th [Sat]~15th [Sun]
Autumn: Sep 18th [Sat]~20th [Mon], 23rd [Thu]~26th [Sun], Oct 2nd [Sat]~3rd [Sun]

The days each work is open to the public vary. For details, please see the ART SETOUCHI website Calendar on ART SETOUCHI official website.
Benesse Art Site Naoshima is open year-round. For details, please see the Benesse Art Site Naoshima Calendar on its official website.

アートを通る旅
母なる海へ
Art Journey on the Nurturing Sea

オフィシャルツアーやイベント等は、決定次第、公式サイトでお知らせします。
We will announce the details on the ART SETOUCHI official website, as soon as the official tours and events are decided.

Photo: Miyazaki Shizumu

瀬戸内国際芸術祭2022開催 The next Setouchi Triennale in 2022

【会期 Session】
春: 4月14日(木)~5月18日(日) Spring: Apr 14th [Tue]~May 18th [Wed]
夏: 8月5日(金)~9月4日(日) Summer: Aug 5th [Fri]~Sep 4th [Sun]
秋: 9月29日(木)~11月6日(日) Autumn: Sep 29th [Tue]~Nov 22th [Sun]

【テーマ Theme】 【会場 Area】
瀬戸内海の12の島々・瀬戸内国際芸術祭、豊島、女木島、栗木島、中島、大島、大島、伊予島(伊)、本島(伊)、高松島(高)、栗島(高)、伊吹島(高)、高松島(高)、宇野島(高)
12 Islands of the Seto Inland Sea • Takamasa, Ube [Naoshima Is., Tahara Is., Magijima Is., Ogijima Is., Shodoshima Is., Oshima Is., Inujima Is., Shijima Is., Horijima Is., Takamijima Is., Awashima Is., Bokujima Is., Takamasa Port, Ube Port]

海の復興
Restoration of the Sea

向への観光と情報提供は、公式サイトでのご覧いただけます。
Information regarding transit to the islands, including timetables, is available on the Art Setouchi website.
<https://setouchi.artfest.jp/access/>

うどん県
それだけ
じゃない
香川県



都道府県内のがん患者の状況

がん種	2019年度		2022年度	
	罹患者数	罹患率	死亡者数	死亡率
肺がん	1107人	13.2%	610人	20.2%
大腸がん	1116人	13.3%	353人	11.7%
胃がん	1164人	13.8%	352人	11.7%
乳がん	737人	21.3%	123人	9.9%
肝臓がん	225人	4.8%	214人	7.1%
膵がん	373人	4.5%	319人	10.6%
悪性リンパ腫	352人	4.2%	124人	4.1%

がん診療連携拠点病院の情報

☐ 都道府県がん診療連携拠点病院	1施設
香川大学医学部附属病院	613床
☐ 地域がん診療連携拠点病院	4施設
香川県立中央病院	533床(一般526床)
高松赤十字病院	507床(一般505床)
香川労災病院	404床
三豊総合病院	462床(一般458床)
☐ 香川県がん診療連携協力病院(2024年度～県指定)	
高松市立みんなの病院	305床(一般299床)
四国こどもとおとなの医療センター	689床(一般452床)

がん診療病院の情報



都道府県におけるがん医療の特性

- ・ 高松圏域、中讃圏域に人口及び医療機関が集中しており、他の圏域から医療需要が流出している
- ・ がんの人口10万人あたりの死亡率は、心疾患、脳血管疾患よりも上昇傾向にあり、死因第1位となっている
- ・ がんの死亡割合は、40歳～60歳代において高く、50歳代から70歳代において、がんによる死亡割合は約3～4割前後である
- ・ 75歳未満年齢調整死亡率は。胃がん、肝がん、肺がんは減少傾向にある。大腸がん・子宮がんは、全国平均よりも低いが、横ばいの傾向である。
- ・ 年齢調整罹患率の推移は、胃がん・肺がん・肝がん・子宮頸がんは、全国値よりもやや高く、大腸がん・乳がんは全国値よりもやや低く推移している。

都道府県におけるがん化学療法の現状と課題

【現状】

- ・各施設ごとにがん化学療法が実施されており、診療科ごと、職種間での情報共有にとどまっている
- ・がん化学療法に関する研修は、都道府県拠点病院セミナー以外は、各施設ごと、研究会などで実施されている
- ・外来化学療法は増加しているが、かかりつけ医や在宅医療機関との連携が十分にはかかれていない
- ・がん化学療法において、災害時等に対応できる協力体制が構築されていない
- ・急性期病院が多く、治療継続が可能な療養型医療機関が少ない

【課題】

- ・施設間で顔の見える関係づくりや県内のがん化学療法に関する課題について話し合い、PDCAサイクルをまわす
- ・地域医療機関や在宅医療機関に対するがん化学療法に関する情報発信や連携を強化し、県民が安心して治療を受けることができる体制構築を行う

研修の概要

【タイトル】

つながりのあるがん薬物療法をめざして

【目的】

香川県のがん薬物療法における顔の見える関係性づくり

【対象者・人数】

4職種×施設数(拠点病院・協力病院 7施設) 28名 + α
(オブザーバー: 行政担当者)

【目標】

一般目標 (GIO)

- ・各施設の現状や課題を共有できる
- ・自施設内での多職種連携がとれる
- ・県内での顔の見える関係性をつくる
- ・県内の課題を施設間で共有できる

到達目標 (SBO)

- ・自施設の取り組みを説明できる
- ・他施設の取り組みを説明できる

プログラム

開始	終了	時間	研修方法	内容
13:00	13:30			受付
13:30	14:00	30	講義	講演(最新トピックス:irAEについて)
14:00	14:15	15		オリエンテーション 事前アンケート結果報告
14:15	14:45	30	発表	各施設紹介3分×7施設
14:45	15:15	30	グループワーク	職種別グループワーク (がん薬物療法における自施設や地域の課題)
15:15	15:30	15	発表	発表3分×4職種
15:30	15:40	10		休憩
15:40	16:10	30	グループワーク	職種混合グループワーク (がん薬物療法における自施設や地域の課題)
16:10	16:35	35	発表	発表(各G3分+質疑応答2分)×7施設
16:35	16:45	10		まとめ、アンケート

研修の評価

【実施評価】

研修終了後、受講者へアンケートを実施する。

内容：研修テーマ、開催時期、研修時間、開催方法、研修の満足度
今後の研修の希望内容など

【結果評価】

- ・職種別・職種混合でのグループワークを通して、各施設の現状や課題を理解し、自施設の課題を抽出できる
- ・抽出した課題について、自施設での取り組みを考えることができる
- ・半年後を目安に各施設へ進捗状況を確認し、参加施設間で共有する
(課題と取り組みに関するフォーマットを送付し、全施設をまとめたものを送付する)

【企画評価】

- ・研修内容や研修方法、研修のプログラム等の適切性についてアンケート結果をもとに評価する
- ・研修担当者間での振り返りを行う

セッション1

日時	○月 ○日(○) 13:30~16:45
場所	香川大学医学部附属病院 マルチスペース2F
セッティング	開始時は各施設ごとにグループワーク形式に集合
担当	香川大学医学部附属病院(医師、薬剤師、看護師、MSW)
用意するもの	PC、プロジェクター、ホワイトボード(グループ数)、マーカー、参加者名札

【学習目標】

各施設の現状や課題を共有し、自施設の課題を抽出できる

【事前準備】

- ・各グループワークの内容の要点を整理しておく
- ・香川県がん診療連携拠点病院・連携病院等へ研修開催の案内・参加募集を行う
- ・研修参加者へ事前アンケートを実施する

【会場準備】

- ・グループワーク形式に机をセッティング、グループごとにホワイトボード、マーカー、メモ等を配置する

【すすめ方】

- グループごとにファシリテーター1名を配置する
- 司会・書記・発表は、グループメンバーで決定する

【セッションでの留意点】

ファシリテーターは参加者の発言を促し、円滑なグループワーク進行に努める
時間厳守